



2022 年も気象変動に負けない米づくり！

# 酒田飽海の つや姫・雪若丸情報

第6号



令和4年8月4日発行

庄内総合支庁

酒田農業技術普及課

Tel(22)-6521 Fax(22)-6522

今後も高温予報！

## 時期に合わせたこまめな水管理で 高品質・良食味米へ！

「つや姫」、「雪若丸」圃場の生育状況はいかがでしょう。生育診断圃の出穂期は、「雪若丸」が8月2日(平年8月4日)となり、「つや姫」は8月8日(平年8月10日)と予想しています。この時期のこまめな水管理を徹底して、高品質・良食味米にしましょう。ここしばらくは、引き続き高温が予想されています。登熟期の高温は水稻にとって大きなストレスです。登熟期間の水管理をしっかり行い、スムーズな登熟をサポートしましょう。

### 1 今後の気象予報

1か月予報(気象庁8月4日発表)によると、期間の前半は気温がかなり高く、向こう一か月の気温は高い確率が70%、日照時間は平年並かやや少ないと予報されています。

今後1週間は曇りや雨の日が多く、最低気温(夜温)が高い見込みです(図1)。夜温が高い日が続く場合は、夜間のかん水で稲体の温度を下げましょう。

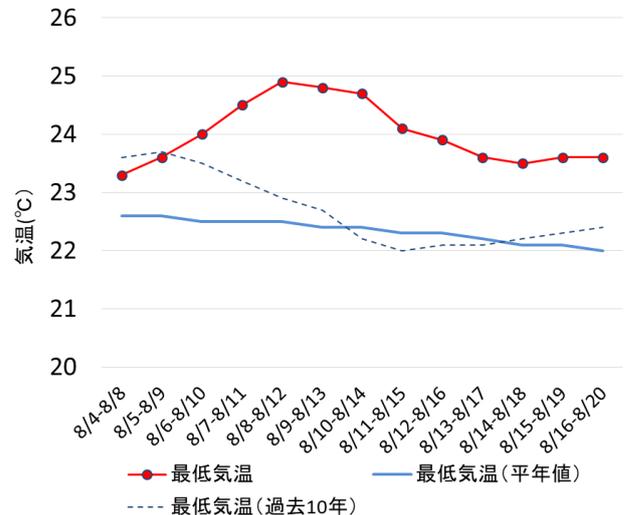


図1 2週間最低気温確率予測より(気象庁R4.8.3時点)

### 2 これからの水管理 ～時期に合わせたきめ細やかな管理を～

○出穂・開花期は稲体が最も水を必要とする時期です。出穂期～出穂後7日間程度は水の入れ替えを行いながら2～5cmの水深で湛水状態を維持しましょう。

○穂揃期以降は間断灌水(2湛2落)や飽水管理を行い、酸化的な土壌条件で根の活力を維持しつつ、登熟を促進させます。こまめな水管理を行い、極端な葉色低下を防ぎましょう。

○出穂後に強風やフェーンに遭遇すると、白穂や枝梗枯等が発生する可能性があります。強風が予想される場合は湛水し稲体を保護しましょう。

○出穂後30日間は完全落水を行わないようにしましょう。早期落水を避けることで、胴割の発生による品質低下を防ぎます。

### 3 「つや姫」「雪若丸」の葉色診断を行いましょう

#### ○「つや姫」の葉色診断

「つや姫」の玄米粗タンパク質含有率を予測する葉色診断については、穂揃期と出穂20日後の2回行うこととしています。積極的な診断で、タンパク含有率を予測し、良食味高品質の「つや姫」に仕上げましょう。表1を参考に生育状況をご確認下さい。

表1 「つや姫」葉色診断 登熟期の止葉の葉色と玄米粗タンパク質含有率

測定時期	葉色 (SPAD)	
	玄米粗タンパク質含有率 7.0%以下	玄米粗タンパク質含有率 7.5%以下
穂揃期	33	38
出穂後20日	28	35

※平均的な10株の最長稈の止葉の葉色を葉緑素計 (SPAD) で測定します。  
登熟期間の気温が極端な高温や低温で推移した場合、出穂後の日平均気温積算値もあわせ判断します。

○「雪若丸」の葉色診断

「雪若丸」の登熟期間における止葉葉色 (最上位葉) の目安は、表2になります。適正な生育となっているか確認し、高品質・良食味の「雪若丸」にしましょう。

表2 「雪若丸」葉色診断 登熟期の止葉の葉色と玄米粗タンパク質含有率

測定時期	葉色 (SPAD)	
	玄米粗タンパク質含有率 7.0%	玄米粗タンパク質含有率 7.5%
穂揃期	36	38
出穂後20日	33	35

## 4 刈取りに向けた準備を！

○日平均気温の積算温度から予想される刈取り適期の目安は以下の表3のとおりです。刈取り計画を立て、収穫作業に備えた早めのコンバインや乾燥機の点検、整備を行うなど準備を計画的に行いましょう。

表3 日平均気温積算からみた刈取り適期の目安

日平均気温 積算温度	雪若丸 (8月2日出穂)	つや姫 (8月9日出穂)
950℃	9月9日 (刈取適期始期)	9月16日 (高温年 刈取適期始期)
1,000℃		9月21日 (通常年 刈取適期始期)
1,150℃		9月28日 (高温年 刈取適期晩限)
1,200℃	9月20日 (刈取適期晩限)	9月30日 (通常年 刈取適期晩限)

※「雪若丸」の刈取り適期は積算気温950～1200℃。

※「つや姫」の刈取り適期は積算気温1,000～1,200℃。ただし高温登熟年は50℃前倒しする。

※ 酒田アメダスの平年値で計算



**「農作業事故防止」&「熱中症予防」で安全作業を！**